

科目名	ファシリテーション概論	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	中原 滯佳	実務経験の有無		○	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-01-A-1-220026	国際学部A：グローバルな課題に批判的な問題意識をもち、国境を超えた個別具体の問題への認識を深める国際教養および研究手法を体得していること			
授業の目的	<p>本授業では、①ファシリテーションとは何か②ファシリテーションの意義③ファシリテーションの応用について理論的に理解し、考えることを目指します。しかし、一方的な講義だけではそれらは理解できないため、授業内外において自ら実践することでファシリテーションを学ぶことが求められます。本授業は「国際交流ファシリテーター」を初めて目指す学生にとっては必修科目ですが、それ以外にもファシリテーションを包括的に学びたい学生も受講可能です。「国際交流ファシリテーター」の授業は国際理解教育におけるファシリテーションを学ぶ科目であるのに対して、本授業はより広い意味でのファシリテーションを学ぶ科目です。</p> <p>また、ディプロマシーとの関連では、本授業は、グローバルな課題に批判的な問題意識と建設的な眼差しをもって向きあう実践的な態度を獲得すること、国際社会なる多文化状況にあってポジティブに協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけることに資するものとして位置付けられます。</p>				
学修到達目標	<p>①ファシリテーションとは何か ②ファシリテーションの意義 ③ファシリテーションの応用 以上の3つの点について説明することができる。</p>				
実務経験との関連性	本学で行っている国際交流ファシリテーターの推進員としての知識と経験を活かし、実践的な授業を行っている				

授業計画	
第1回	イントロダクション-ファシリテーションの全体像-
第2回	ファシリテーションがなぜ今必要なのか？①
第3回	ファシリテーションがなぜ今必要なのか？②

第4回	ファシリテーションとは何か？-誕生と歴史-
第5回	教育とファシリテーション①
第6回	教育とファシリテーション②
第7回	日本社会とファシリテーション
第8回	地域社会とファシリテーション
第9回	前半の振り返りと今後の展開-ファシリテーターになるために-
第10回	ファシリテーションの応用-プログラムデザイン-
第11回	ファシリテーションの応用-場づくりのスキル-
第12回	ファシリテーションの応用-非暴力コミュニケーションの理論-
第13回	ファシリテーションの応用-非暴力コミュニケーションの実践-

第14回	ファシリテーションの弊害-ファシリテーションは常に善か？-
第15回	まとめと振り返り-ファシリテーションの今後の展開-
第16回	

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	【必要な時間：2時間】授業中に指示したテキストもしくは配布資料を熟読しておくこと。
【復習】時間・内容	【必要な時間：2時間】授業で学んだことを踏まえ、日常のなかでファシリテーションを実践すること。

成績評価	
評価基準・方法	最終レポート(60%)と、出席回数と授業後のコメントペーパーを含めた授業参加態度(40%)をもとに評価します。コメントペーパーに書かれたコメントや質問は授業の改善に役立て、質問に関する回答は授業中に行います。
フィードバック方法	課題などを出した際には、そこで出た質問や疑問について授業内で回答する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	グループワーク／実習、実技、実験、フィールドワーク
教科書/参考書	教科書は特に指定せず、テーマに応じた文献を授業中に紹介します。
受講上の留意点等	<p>本科目を受講するにあたって、ファシリテーションに関する基本的な知識・理解を深めることだけでなく、授業内外でその知識を応用し、実践することが望ましいです。</p> <p>そのため、授業内では話を聞くだけでなく、複数人でグループワークを行う場面が多くあります。</p> <p>また、受講生は獲得した知識を使って、ファシリテーションについて自ら考えることが求められます。</p>
JABEE	